

岩手県小中学校における地域・家庭との連携

平成31年地域政策研究センター 地域協働研究【ステージ I】採択課題

課題名：中学校生徒の学力向上のための各種資源（ツール）と、多様な主体による連携方策に関する研究—岩手の中学生の学力向上を目指して—

研究代表者：高等教育推進センター 准教授 渡部芳栄

課題提案者：SoRaStars株式会社 山崎智樹

研究メンバー：天野哲彦（教育支援本部），高瀬和実（高等教育推進センター）

技術キーワード：学力・連携・地域・家庭

▼研究目的

小学校では良い成績を収めている岩手の子どもたちが、中学校になると成績面で振るわなくなる。また、部活も含めて学校が色々な責任を抱えており、限られた資源の中で学校は外部組織との連携が求められていると考えられるが、一体どのように連携を進めようとしているのか、また、実態はどのようになっているのかについて基礎的研究を行う。

▼分析方法と分析結果

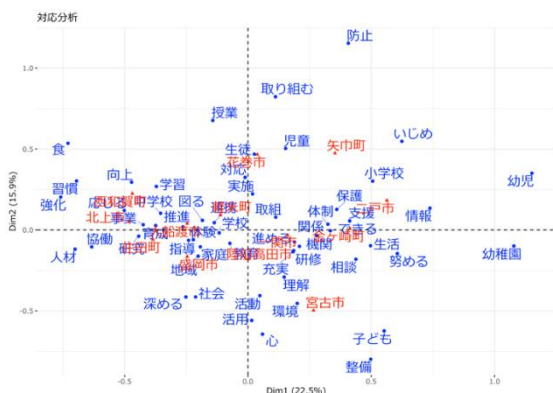
1. 教育振興基本計画分析

- 東北6県と岩手県内13市町の教育振興基本計画についてテキスト分析を実施

図表1 東北6県の「連携」との共起語分析結果

青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県
地域 (11)	地域 (27)	充実 (50)	地域 (69)	地域 (89)	機関 (24)
	機関 (17)	学校 (26)	部局 (15)	関係 (29)	関係 (13)
	関係 (8)	機関 (8)	市町村 (10)	機関 (26)	地域 (11)
	団体 (5)		機関 (8)	大学 (15)	家庭 (5)
	相互 (5)		接続 (7)	部局 (14)	

- ✓ 県レベルでは、「地域」を第1の連携相手として認識
- ✓ 市町村レベルでは、特に学力や学校教育関係で「地域」の他に「家庭」も連携相手として前面に登場



図表2 岩手県13市町の対応分析結果

2. 全国学力・学習状況調査分析

- 2014年度・2017年度児童生徒質問紙，学校質問紙の回答の比較分析を実施

図表3 「地域」「家庭」との連携に関する項目の変化（抜粋）

質問の内容	選択肢の内容	差	順位
学校支援ボランティア効果	そう思う	-8.27	6
PTA等参加	よく参加してくれる	-1.51	13
家庭での計画的勉強	している	-13.84	1
家庭での復習	している	-14.96	3
家庭での予習	している	-10.06	4

- ✓ 地域との連携に関連するもののうち、学校支援ボランティアの効果やPTA等の参加の小学校時からの低下が全国との比較でも大きい
- ✓ 家庭との連携に関連するもののうち、家庭学習に関する項目の小学校時からの低下が全国との比較でも大きい

▼まとめと今後の展開

県および市町（村）の政策レベルでは、学力や学校教育関係で「地域」「家庭」を連携相手として認識しているものの、実態としては「地域」「家庭」との連携において課題があると言える。

一定程度量的な分析を行うことができたものの、地域や家庭（あるいは、それ以外の「機関」など）との望ましい連携方策について、具体的な像はまだまだ見えてきておらず、今後より具体的に検討する必要がある。実践上も研究上も、「具体的に」検討することを考えれば、今回分析の対象とした県や市町村全体といった単位よりも、各学校もしくは学区単位での実践・研究が求められるだろう。今後は、地域をさらに限定し、実践的に調査・研究を行うことで各学校・学区に有効な連携方策を検討していく。